

令和6年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験

ロジスティクス分野
3級 ロジスティクス管理

試験問題

(13 ページ)

1. 試験時間 110 分

2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、受験票に記載されている試験区分名と同じか確認してください。
申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、40題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配 点) 問題1～問題40 各2.5点 合計100点
(合格基準) 試験全体として概ね60%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、J I S等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和6年5月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシート（解答用紙）には、①試験区分名、②氏名、③座席番号、④受験番号、⑤生年月日を正確に記入してください。なお、受験番号の最後の桁は、アルファベットですので、数字と間違えないように注意してください。
- (7) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆又はシャープペンシルのいずれかで、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
- (8) マークシートには、所定の事項以外は絶対に書き込まないでください。なお、計算等が必要な場合は、問題用紙の余白又は裏面を使用してください。
- (9) マークシートにはア～エまでマークする欄があります。問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを1つだけ選んで間違えないようにマークしてください。
- (10) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (11) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (12) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (13) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (14) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (15) 替え玉受験、試験中に受験者間で情報を授受する行為、指定されたもの以外のものを机の上に置く行為、カンニング行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (16) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。
- (17) 試験終了後の正解表の公表、合格発表等のスケジュールは、受験票に記載しておりますので、ご確認ください。

問題 1 物流とロジスティクスに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 「物的流通 (Physical Distribution)」という用語は、米国における流通やマーケティングの分野で、商取引等の商的流通と、商品の供給すなわち物理的な流通を区分する考え方から誕生した。
- イ. ビジネスにおけるロジスティクスの概念は、大量生産の進展と共に認識される様になった。
- ウ. 道路、港湾や空港等の社会的基盤施設の整備については、行政が取り組むべき課題である。
- エ. ロジスティクスとは、元々、武器や弾薬、食料、水などを前線に供給することを意味する軍事用語で、その概念が企業活動に適用された。

問題 2 物流管理に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流管理の中の安全管理は、物流の作業、オペレーションに深く関わる管理領域であり、労務管理と合わせて行う必要がある。
- イ. 物流の効率を計画・統制する方法として、物流コスト管理がある。
- ウ. 企業経営を圧迫する要因として、欠品による販売機会のロスや過剰在庫などの在庫管理に関わる問題があるので、市場の動きに合わせた適正な量の計画・統制を行うことが求められている。
- エ. 物流生産性の管理とは、保管拠点などの物流システムの稼働率を管理することであり、稼働率100%とすることを目標に管理を行うことである。

問題 3 領域から見た物流の分類として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. メーカーの調達物流は、サプライヤーによる原材料や部品、仕入品の保管を指す。
- イ. メーカーにおける社内物流は、工場内のモノの移動と保管を指す。
- ウ. 販売物流は、顧客への納品を指す。
- エ. 返品物流は、納品時に使用したパレット、通い箱等の回収を指す。

問題 4 物流管理の領域に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流サービスは、物流システムを構築する際の重要な条件であり、その適切な管理により顧客ニーズの充足と会社業績の向上に貢献する。
- イ. 物流部門においては、物流効率の尺度の一つである物流コストの管理が重要である。
- ウ. 労務管理は、労働集約型産業の物流業において、業務を確実に遂行する上で重要であり、特に労働者のための安全配慮には重点的に取り組む必要がある。
- エ. 物流における環境対策とは、輸送時のCO₂排出量削減のことである。

問題 5 製造業における物流部門とマーケティング・営業部門との望ましい関わりに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．物流部門は、マーケティング・営業部門で行う新商品の企画・開発が終了した段階から、梱包サイズその他物流条件という観点で検証に関わる。
- イ．マーケティング・営業部門は、物流サービス水準の変更に関する顧客との交渉を行う。
- ウ．過剰・不働在庫のある製品については、物流部門から積極的にマーケティング・営業部門に働きかけ、終売等の決定を行ってもらう。
- エ．キャンペーン等の特需が想定されるイベントについては、マーケティング・営業部門から物流部門へ事前に通知してもらうことで、在庫や車両の手配が円滑に行える。

問題 6 物流部門と社内関連部門との関わりに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．生産部門とは、欠品と過剰在庫を削減するため、需給計画を共有する。
- イ．営業部門とは、顧客との折衝が必要になることを協議する。
- ウ．製品開発部門とは、開発途上の新製品の機能と仕様について協議する。
- エ．財務部門とは、物流に関連する新たな投資について協議する。

問題 7 物流の労働環境改善のために、国土交通省等が推進している施策に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ドライバーの日帰り勤務を増やすため、複数のドライバーが連携して輸送する中継輸送方式の普及促進
- イ．荷主企業の働き方改革の推進度合いに応じて「Gマーク」の認定を行う制度の導入
- ウ．職場の安全性に応じて「☆」マークが付与される、「運転者職場環境良好度認証制度」の実施
- エ．1枚のパレットに積載する貨物量を減らし、荷役作業への負荷を減らすための標準パレットの普及促進

問題 8 物流サービスの管理に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．製品及び商品を輸送中に汚破損させないようにするため、輸送包装は多重にする必要がある。
- イ．顧客ニーズの多様化から、ある物流事業者は流通加工等も提供サービスに取り入れた。
- ウ．製造業は、流通業と比較して、製品及び商品を早く届けることが大切であるため、迅速性を重要視することが多い。
- エ．荷主からのサービス水準向上の要求に対応して、物流事業者が設備投資を行い、その結果、コストが増えたが、荷主は料金を据え置いた。

問題9 物流サービス管理のステップに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．競合他社のサービス内容や水準を調べるに当たって、最も正確なのは自社の営業担当窓口に聞くことである。
- イ．物流サービスの提供に当たっては、顧客ごとにどれくらいのコストがかかるのか、それを提供することによりどれくらい利益が向上する可能性があるかを分析することが望まれる。
- ウ．物流サービス水準の設定では、まず顧客の要望通りに設定し、その後も都度要求がある度に見直すことで最適な物流サービス水準が設定できる。
- エ．物流サービスは、取り決めた物流サービス水準、提供している物流サービスの品質を常に定性的に判断して管理する。

問題10 物流会社B社では、顧客である通販会社A社からの物流品質のクレームが増加してきたため、クレーム内容の調査を行った。品質向上の取組に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．品名相違が多かったため、全商品をデジタルピッキングに変更した。
- イ．配送リードタイムが延びていたため、出荷担当者が受注締め時間を繰り上げて対応した。
- ウ．自社配送ドライバーの対応が良くなかったため、社内でマナー教育を繰り返し行い、お客様に対するマナー向上を行った。
- エ．出荷ミスが多くなり返品率も増えたため、自社倉庫を増築することにした。

問題11 2023年6月に決定された「物流革新に向けた政策パッケージ」における物流の効率化に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．物流事業者の営業所や倉庫等において、自動倉庫や無人荷役機器等の導入など自動化・機械化を進める。
- イ．トラックドライバーの労働生産性の向上のため、大口・多頻度割引の拡充措置を継続し、利用しやすい高速道路料金を実現する。
- ウ．貨物自動車の自動運転、ドローン物流、物流DX等を活用して物流の生産性の向上を図る。
- エ．高速自動車道において、大型貨物自動車の最高速度は現在80km毎時とされているが、これを100km毎時に引き上げる。

問題12 企業のコンプライアンスに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．企業のコンプライアンスには、法令以外の一般常識や企業倫理は含まれない。
- イ．企業のコンプライアンスの目的の一つは、リスクを適切に管理することで企業価値を高めることである。
- ウ．コンプライアンスの推進において、就業規則等の各種規程の整備は不要である。
- エ．企業のコンプライアンスは社内の問題であるため、委託事業者は対象外である。

問題13 「物流の2024年問題」に関連し、荷主に求められるトラックドライバーの労働時間削減施策に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 配送計画の見直しを行い、トラックドライバーの毎月の拘束時間を293時間とした。
- イ. パレット化を推進することにより、手荷役による積み降ろし作業を廃止する。
- ウ. トラック受付予約システムの導入により、計画的に納品日時を分散し、長時間の荷待ち時間を短縮する。
- エ. 長距離輸送において休息期間を適正にとるため、翌日着から翌々日着に変更するなど輸送リードタイムの延長を行う。

問題14 特別積合せ貨物運送のトラックターミナルに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流ネットワークのノードに該当する拠点である。
- イ. 物流拠点としては、DCの機能が重視されている。
- ウ. 営業倉庫を併設することにより、顧客から寄託を受けた貨物を保管することができる。
- エ. 集荷・配達と幹線輸送を結合するための拠点である。

問題15 倉庫におけるロケーション管理に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 棚方式とは、フロア&ゾーン番号、棚列番号、棚番号、棚段番号、間口の順で番地を特定する方法である。
- イ. 保管品目の種類数が多い場合は、フリーロケーションを採用することが多い。
- ウ. 面方式とは、床面を柱間隔の整数分割で、縦・横に区切り、その番地を座標方式で決める方法である。
- エ. 立体自動倉庫のロケーション管理は面方式である。

問題16 特別積合せ貨物運送に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 輸送形態のうち、幹線輸送では、鉄道やフェリーなどへのモーダルシフトが進められている。
- イ. ターミナルや集約拠点を中心としたネットワークが重要である。
- ウ. 宅配便は、特別積合せ貨物運送には該当しない。
- エ. ネットワーク構築には大きな投資が必要となるため、新規参入は容易ではない。

問題17 企業の輸送実態分析のための物流OD表に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．発地をタテ、着地をヨコに並べる。
- イ．発量と着量のそれぞれの総量は一致する。
- ウ．分析データとして用いるものの例としては、質量・便数・運賃がある。
- エ．工場・倉庫・顧客等を分けずに、まとめて並べることで問題の所在が明らかになりやすい。

問題18 物流拠点を新たに設定する際に検討すべき項目として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．高速道路の新規開通等による道路ネットワーク状況の変化
- イ．物流拠点予定地周辺での住宅・学校等の立地状況
- ウ．支店の営業エリアと物流拠点の配送エリアの一致
- エ．顧客の求めるリードタイムの遵守の可否

問題19 3PL（サードパーティー・ロジスティクス）事業者との契約に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．物流コスト削減効果が得られた場合、荷主企業と3PL事業者で、その効果を分ける契約もある。
- イ．包括的な物流アウトソーシング契約を締結する場合、一般に単年契約が結ばれる。
- ウ．物流業務の委託に当たり、3PL事業者が新たに物流センターを設置する場合、賃借物件とする傾向がある。
- エ．3PL事業者との契約内容については、料金や品質などのトラブルが発生しないように、予め提供サービスの内容、委託範囲等を詳細に明文化しておく必要がある。

問題20 共同物流の実施に当たって、参加企業が検討すべき項目として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．参加企業が合意できる物流サービス水準の設定
- イ．従来から委託している物流事業者との契約内容の変更
- ウ．納入先でのメリットの発現
- エ．既存情報システムの無改修での流用

問題21 貿易取引に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 輸入品を保税地域から引き取るには、原則として関税と同時に消費税を納付する必要がある。
- イ. 取引相手が異なる国にあるため、より慎重に取引相手の信用リスクを考慮する必要がある。
- ウ. 商品の梱包や包装は、国内取引での梱包や包装と同様にする必要がある。
- エ. 外貨決済となることが多いため、為替変動のリスクを考えておく必要がある。

問題22 在庫管理に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 卸売業A社は、在庫保管スペースを縮小するため、物流センターの在庫をメーカー所有在庫に名義変更した。
- イ. コンビニエンスストアB社は、一部の商品について、店舗ごとに周辺のイベント情報などを収集して商品発注を行い、欠品を防いでいる。
- ウ. インターネット通販C社は、顧客満足度を高めるため、出荷頻度の低いアイテムも極力在庫するよう心掛けている。
- エ. メーカーD社は、適正在庫を実現するため、生産計画の策定期間を1カ月から1週間に変更した。

問題23 在庫管理に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 医薬品など、緊急性が高く生命に関わる製品については、在庫を多く持つ傾向が強い。
- イ. 海外から調達する果実や化学品原料など、相場や収穫量に左右される原材料は、適正在庫を維持することが困難な場合がある。
- ウ. 海外から調達するアパレルなど、流行に左右される製品は、シーズン前の見込みによる大量発注が理想的である。
- エ. 物流の2024年問題に対応するには、流通段階で一定程度の在庫が必要となる場合もある。

問題24 適正在庫量の決定に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 一般的に、在庫補充のリードタイムが長くなると、適正在庫量は増加する。
- イ. 一般的に、在庫補充の頻度を増やし1回当たりの補充量を減らすと、適正在庫量は減少する。
- ウ. 平均在庫量は「最大在庫量÷2＋安全在庫」で算出される。
- エ. 特売などの販促イベントがある商品は、その都度、販売計画に基づき在庫量を決定する。

問題25 在庫管理方式に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．定期航路で飲料を海上コンテナ単位で調達する場合は、不定期不定量補充方式が適している。
- イ．コンビニエンスストア店舗へのサンドイッチの補充は、定期定量補充方式が適している。
- ウ．定期不定量補充方式では、調達リードタイムが短くなると補充量は増える。
- エ．ビジネス用ワイシャツは、フリースジャケットよりも一般的に日々の出荷の標準偏差が小さい。

問題26 在庫分析に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．在庫の先入れ先出しができていれば、在庫の滞留期間と保有日数は一致する。
- イ．在庫の不動期間と出庫頻度は、相関関係にある。
- ウ．在庫鮮度分析で、「入庫が多頻度」かつ「出庫が時々」に分類された商品は在庫鮮度が高いと評価される。
- エ．在庫のパレート（A B C）分析に使用する縦軸は製品の出荷量、横軸は出荷頻度である。

問題27 棚卸に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．循環棚卸は、期末決算時に実施するものである。
- イ．在庫管理の精度を上げるためには、可能な限り一斉棚卸の頻度を上げるべきである。
- ウ．売上原価を確定するために、帳簿上の在庫と現物在庫を一致させておく必要がある。
- エ．実地棚卸の作業は、ロケーション単位で行う必要はなく、アイテム単位で行う必要がある。

問題28 <下図>は、製造業A社の損益計算書の主要項目を模式的に示したものである。
この損益計算書の様々な項目に分散して計上されている物流コストの説明として
最も不適切なものは、次のうちどれか。

なお、図は模式的な表記であり、会計ルール上は、この他の費目等がある他、
厳密な表記でない場合がある。

<図 製造業A社の損益計算書の主要項目>
(売上・収入) (費用・損失)

売上高	製造原価	経費
		労務費
		原材料費
	販売管理費	一般管理費
		販売費
	営業外費用	
	特別損失	
	当期利益	

- ア. 製造原価中の「原材料費」には、調達物流費が含まれている。
イ. 製造原価中の「経費」には、原材料保管費が含まれている。
ウ. 販売管理費中の「販売費」には、物流センターからの配送費が含まれている。
エ. 「特別損失」には、自家物流費のうち物流拠点に関わる減価償却費が含まれている。

問題29 以下に示す＜事例＞を踏まえた場合、A社の物流コストに関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

食品製造業A社は、自社の物流の全体像を把握した上で、物流コストの算定に取り組むこととした。

A社は物流不動産会社から倉庫建物を賃借し、そこから取引先に出荷している。倉庫内のフォークリフト等荷役機器は自社で購入した上で、当該拠点に常駐する自社営業部の社員が保管・出荷作業を実施している。

一方、輸送業務は運送事業者のトラックを貸し切り運賃で利用し、輸送を行っている。

なお、自社の有価証券報告書を確認したところ、下記のとおりであった。

表1：損益計算書（単体、抜粋）（単位：100万円）

売上高	4,000
売上原価	2,500
売上総利益	1,500
販売費及び一般管理費	1,600
（中略）	
営業外費用	30
支払利息	10
（以下略）	

表2：販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額（単位：100万円）

支払運賃	280
給与手当	550
賃借料	100
支払手数料	100
減価償却費	30

ア．A社の対売上高輸送費率は、6％である。

イ．A社は運送事業者のトラックを貸し切りで利用していることから、同社の賃借料には、一般的にトラックの借り上げ料金が含まれる。

ウ．A社は自社社員が庫内作業を実施していることから、荷役にかかるコストは、同社の給与手当に含まれる。

エ．A社の在庫金利は、一般的に支払利息のことである。

問題30 普通倉庫の料金体系等に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 倉庫料金は、料金を設定・変更した場合に30日以内に届け出る、事後届出制となっている。
- イ. 保管料の計算は、1カ月を週単位で4期に分け、1期単位で算定されるのが一般的である。
- ウ. J Rコンテナや国際貨物コンテナを利用して貨物を保管する場合にも、普通倉庫料金が適用される。
- エ. 倉庫の荷役料は、物流ABC（活動基準原価計算）に基づき、入出庫など作業の種類、貨物の形状などに応じてその都度単価を定めるのが一般的である。

問題31 旧通産省が策定した「物流コスト算定・活用マニュアル」では、実態把握のための物流コストの算定モデルを示しているが、同モデルにおける物流コストの分類方法として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 委託先別
- イ. 変固別（変動費・固定費別）
- ウ. 領域別
- エ. 機能別

問題32 物流におけるコスト・トレードオフに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 在庫削減によって保管コストを削減するために、在庫補充頻度を高めたところ、ロットが小さくなり輸送コストが増えてしまった。
- イ. 輸送コストを削減するために、本社サイドで入札により運送会社を選定する仕組みにしたところ、繁忙期にトラックを確保できなくなった。
- ウ. 荷役コストを削減するために、ユニットロードシステムを導入し、全てパレット積みとしたところ、トラックの積載効率が低下してしまった。
- エ. 包装コストを削減するために、梱包資材のグレードを落としたところ、貨物の破損が多発し、返品が大量発生してしまった。

問題33 ロジスティクス情報システムの特徴に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ロジスティクス情報システムは、各企業のロジスティクスの業務内容に沿ったものであることが重要である。
- イ．ロジスティクス情報システムの特徴の一つには、モノの移動という特性から、移動体通信が多いことが挙げられる。
- ウ．近年のＩＣＴの進展に伴い、輸配送、保管や荷役など多様な物流サービスへの支援が求められている。
- エ．メンテナンス頻度が多いロジスティクス情報システムは、基幹システム（ＥＲＰ）に組み込んで構築することが望ましい。

問題34 基幹システムとロジスティクス情報システムに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．基幹システムとは、企業が経営を続けていく上で重要な財務管理、業務管理などを行うためのシステムである。
- イ．基幹システムは大きく基幹系、通信系、業務系のシステムに分けられる。
- ウ．ロジスティクス情報システムにおける業務系システムは、計画系と実行系のシステムに分けられる。
- エ．ロジスティクス情報システムにおける計画系システムには、パッケージ化されたＳＣＰなどがある。

問題35 ロジスティクス情報システム設計に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ロジスティクス情報システムの構築に当たっては、パッケージソフトを使用する場合でも、システム設計ステップを経る必要がある。
- イ．システム設計における外部設計（概要設計）とは、設計者サイドに立ち技術的内容の明確化を目的とする。
- ウ．システム企画の精度が、システムトラブルの有無・増減を左右する。
- エ．ロジスティクス情報システムは、一般的にシステム稼働後の改修・改善が多い。

問題36 ロジスティクスにおけるＲＦＩＤ活用に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．複数のＲＦＩＤの一括読み取り、書き換え、情報の追加が可能である。
- イ．生産現場では、カンバンにＲＦＩＤを搭載することにより、瞬時な入荷検収、入荷処理などを実現している。
- ウ．アパレル業界の一部では、商品コードに加え、価格情報を記録させることにより、商品仕分け、検品、棚卸に加えて販売金額算出の効率化も実現している。
- エ．棚卸に用いる場合、バーコードと比較して、作業時間を大幅に短縮できる。

問題37 受注処理システムに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．受注オーダーに対する在庫引当処理は、受注処理システムで行う。
- イ．納入側が倉庫に在庫補充するVMI（ベンダー在庫管理方式）では、受注処理システムでの処理が省略できる。
- ウ．受注オーダーに対する出荷指示は、受注処理システムで行う。
- エ．顧客からの発注オーダーに対して在庫がなく、出荷できない場合でも、受注処理システムでの処理が必要である。

問題38 発注処理に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．コンピュータによる自動発注（CAO）では、予め決められた基準に基づく発注数の計算と、最大受注単位との調整が行われる。
- イ．発注時に発注ナンバーを受注側に送信することにより、商品入荷時の検品作業は廃止できる。
- ウ．ハンディ型発注端末は、多品種、大量の発注行数のデータを入力するときに効率的である。
- エ．発注処理の前提として、受注側と発注側の両者が商品名や商品コードなどの情報を共有、あるいはコードを変換するツールを準備しておく必要がある。

問題39 WMS（倉庫管理システム）に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．WMSは、包装・荷役・保管・流通加工の各物流機能を管理対象としている。
- イ．WMSは、在庫受け払い、ピッキング・仕分け、作業管理等の各処理システムに大別される。
- ウ．WMSの在庫受け払い処理は、入・出荷、保管、返品受入、棚卸など、在庫に関する処理を行う。
- エ．3PL（サードパーティー・ロジスティクス）では、一般的に荷主のWMSが利用される。

問題40 輸配送に関係する管理システムに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．鉄道コンテナの追跡システムでは、コンテナ、集配トラック、フォークリフト、貨車などにQRコードを付け、コンテナ持ち出しから配達完了後のコンテナ回収まで、コンテナの所在管理を行っている。
- イ．求貨求車システムは、貨物を運びたいという求貨情報と貨物を運んで欲しいという求車情報をマッチングさせ、成立すれば、運送事業者は集荷・配車指示処理を行う。
- ウ．トラック輸送における運行管理システムは、①顧客サービスの向上、②コスト削減、③ドライバーの負担軽減、④労務管理の徹底などを目的として導入される。
- エ．トラックの運行管理システムは、クラウドコンピューティングのSaaSにて提供されるものが増えている。